

## 令和3年度第3回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時：令和4年3月29日（火）午後2時00分

場 所：旧吉野家住宅、大門市民センター第2会議室

出席委員（敬称略）：河東義之、山本勉、馬場憲一、稲葉政満、沖川伸夫、  
保坂一房、棚橋正道、久保田正寿、西村慎太郎

欠席委員（敬称略）：神庭正則

事務局：橋本雅幸教育長、浜中茂教育部長、北村和寛文化課長  
小峯勝郷土博物館管理係長、岡本拓也郷土博物館管理係主任

開会（文化課長進行）

### 1 教育長あいさつ

### 2 現地視察（旧吉野家住宅屋根葺き替え工事）

令和4年2月から実施している旧吉野家住宅の屋根葺き替え工事を視察。

### 3 意見交換（同上）

#### 質疑・応答・意見

【委員】今回、葺き替え工事を行っている業者は、各地の文化財住宅での実績があり、信頼できる。

【委員】葺き替え工事を行う前に保存活用計画を作成したが、現在はどうなっているのか。

【事務局】保存活用計画については現在、東京都と調整しているところである。

【委員】今回の葺き替え工事について、修理報告書を印刷する予定はあるのか。

【事務局】修理報告書を印刷する予算はないが、設計監理業者からデータが提出される予定である。

【委員】棟の形は修理前のものと違うが、現状変更を行うのか。

【事務局】昭和52～53年度で実施した修理後の状況に戻すため、東

京都と協議し、現状変更は必要ない旨の回答を得ている。

【委員】保存活用計画は印刷して配布するのか。また、当初は保存活用計画が作成できた後に葺き替えを行うと聞いていたが、保存活用計画が完成していなくても、整合性は取れているのか。

【事務局】保存活用計画は各委員に配布したい。また、今回の葺き替え工事は、雨漏りも発生しており、緊急修繕的な面もあることから、保存活用計画が完成していなくても葺き替えを行えるとの回答を東京都から得ている。

【委員】新青梅街道沿いの案内看板が見にくいいため、もっと大きな看板があると良い。

【事務局】案内看板については、保存活用計画の中に盛り込んでいるので、改善していきたい。

【委員】葺き替え工事見学会の結果はどうだったのか。

【事務局】見学会は3月19日から21日の3日間で実施し、延べ83人の参加者があり、とても好評であった。

#### 4 報告事項

##### (1) 指定文化財の現状変更等について

事務局から市指定史跡「武蔵御嶽神社」の現状変更や、国指定天然記念物「御岳の神代ケヤキ」、都指定史跡「安楽寺境域」、同史跡「海禅寺境域」のき損届等について説明。

##### 質疑・応答・意見

【委員】都指定史跡「安楽寺境域」の破損状況は分かったが、今後どうするのか。

【事務局】令和5年度以降の補助事業に向けて、所有者や東京都と調整している。

【委員】都指定史跡「海禅寺境域」の銅板の損傷とはどこの部分になるのか。

【事務局】今回、損傷したのは、外塀の角部分の銅板である。

##### (2) 吉川英治旧宅の国登録有形文化財の登録について

事務局から吉川英治旧宅の国登録有形文化財に登録するための文

化庁による視察について説明。

質疑・応答・意見

【委員】『東京都の近代和風建築』の「吉川英治旧宅（草思堂）」の中にある、吉川英治が建物と土地を野村家から譲り受けた経緯について、間違っている部分があるので所見を書く際に修正したい。また、吉川英治が杉皮葺きの主屋と一緒に写っている昔の写真があるので、登録申請の際に使った方がよい。文化庁から何か意見等はあったか。

【事務局】文化庁からの主な意見として、吉川英治が土間を改造して造った待合室など改造部分の質が高いこと、洋館風の書斎の土台には大谷石や白河石が使われているので、建築年代は、鉄道輸送が発達した明治後期ではないかといった指摘があった。また、長屋門や土蔵の用途や、主屋に和クギと洋クギのどちらが使われていたか調べてほしいといった意見があった。

【委員】平面図には、室名があった方がよい。

【委員】国登録有形文化財に対する考え方と登録基準はどのようなものか。吉川英治が住んでいたもので登録されるものなのか。また、登録名称は、どのように考えているのか。

【委員】当時の造形の規範となるようなもので、建築物そのものの価値が高いものが登録される。

【事務局】「吉川英治旧宅（草思堂）」の登録名称で申請し、文化庁で検討すると伺っている。

(3) 都指定有形文化財「旧多摩郡下師岡村名主吉野家文書」等の寄贈について

事務局から、都指定有形文化財「旧多摩郡下師岡村名主吉野家文書」や脇差等が寄贈されたことについて説明。

質疑・応答・意見

【委員】同じ東京都指定文化財で「旧多摩郡新町村名主吉野家文書」があるが、こちらも市の所有であるのか。

【事務局】「旧多摩郡新町村名主吉野家文書」については、市の所有となっている。

(4) その他

質疑・応答・意見

【委員】御嶽菅笠の版木の保管について、所有者の関係者から相談を受けた。市の方にも相談があったら配慮してほしい。

【事務局】市の方にも連絡をいただいております、所有者や神社と連携しながら協力していく。

【委員】雲慶院の火災により救出した文化財は、現在、奈良文化財研究所で保管しているが、新型コロナウイルスの影響により、保存処理に時間がかかっている。

【事務局】現在、再建に向けて少しずつ進んでいると伺っている。

5 次回の開催について

【事務局】次回の開催は、5月のゴールデンウィーク明けから6月までを目途に開催したい。

6 その他

質疑・応答・意見

特になし。

閉会（事務局）